

平成24年度

第1回理事会・評議員会開催

公益財団法人茨城県消防協会役員名簿 (H24辞任者補充後)

(任期：平成23年度～24年度)
顧問 大塚 光 会長 葉梨 衛 専務理事 遠藤 延男 (平成24年6月2日就任)
平成24年5月9日現在 (県制順)

Table with columns: 支部名, 副会長, 理事数, 理事 (所属), 備考, 理事定数. Lists members across various branches like 県北, 県中央, etc.

Summary table for 消防職員 (Firefighters) with columns for 支部名, 副会長, 理事数, 理事 (所属), 備考, 理事定数.

注1 理事数は、平成18年度の総会で決定された消防団長から20名、消防長から4名とし、その他団長歴10年以上の者を理事(10年理事)とした。
注2 副会長・理事については、当協会の「役員等の選任に関する基準」に基づき各支部及び消防長会より推薦のあった者とした。
注3 監事は、各支部県勢順に持ち回りとし、今期は県南支部及び西支部及び消防長会より推薦のあった者とした。



議長を務める葉梨会長
葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。
葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。
葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。

葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。
葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。
葉梨会長は、五月九日(水)に茨城県総合福祉会館において、平成二十四年度公益財団法人茨城県消防協会理事会及び評議員会を開催した。



4・5月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会 葉梨 衛
印刷所
富士オフセット印刷(株)
(1部 15円)

議長となり、評議員会の議長(日立市消防団長 今橋松男)及び評議員会の議事録署名人(茨城県消防団長 長洲良男、那珂市消防団長 根本榮樹)を選出(理事会は定款の規定により会長及び監事)し、議案が審議され、それぞれ原案どおりの承認・議決されました。(理事会と評議員会では議事案件が一部相違しましたので、評議員会議案を掲載します。)

日本消防協会主催・消防団幹部候補中央特別研修に取手市と常総市の消防団員が参加

日本消防協会主催による第十一回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。
(参加者) 取手市消防団 分団長 吉田 保徳、分団長 前田 治信、分団長 千葉 康司
(参加者) 常総市消防団 分団長 齊藤 初枝、分団長 齊藤 正紀子
今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の吉田保徳さんと女性消防団員の部の齊藤初枝さんからの寄稿文をご紹介します。

「第十一回消防団幹部候補中央特別研修に参加して」

平成二十四年二月七日から九日までの三日間、日本消防協会に於いて全国から百四十一名の消防団員が集まり、消防団員幹部候補中央特別研修会が開催されました。
研修への期待と、総代を命じられたこともあり少し不安な気持ちを持ちながら研修に参加しました。
初日の開講式が終わると、秋本理事長の講和で研修が始まり、グループ毎の課題討議へと進みました。全国的消防団員が課題としていることを六班のグループに別れ討論しました。その中でも、消防団員の減少は、どの地域でも大きな問題となっていることでした。そのため、入団しやすい環境作りが必要ではないかとの意見が多くありました。
初日の研修終了後は、全国の消防団員との顔合わせとなる懇親会がありました。懇親会では、消防団活動の話で盛り上がり、

「第十一回消防団幹部候補中央特別研修に参加して」

平成二十四年二月十三日から十五日までの三日間、第十一回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。感謝申し上げます。
全国から九十二名の女性消防団員が参加して開催されました研修会は、秋本理事長の講話から始まり、各講師の方々の消防団の歴史、消防団の役割、消防団の誇りについて初日から熱い思いが伝わってお話でした。
二日目は、東京消防庁本所都民防災センターの視察、午後の在日米軍司令部地域統合消防隊 長谷川祐子予防隊長の講義のなかで、子供たちへの予防指導方法については、これからの活動の中

消防協会事務局職員の変動

平成二十四年度第一回理事会評議員会での承認を受けて、消防協会の鈴木利正専務理事兼事務局長が六月一日付で退職し、前茨城県生活環境部危機管理室の遠藤延男室長が同日二日付で事務局長に就任しました。
研修に参加した取手市消防団 (右から吉田、千葉、前野各分団長)
研修に参加した常総市消防団 (左から齊藤分団長、齊藤団員)



# 平成二十四年 春の叙勲・褒章

平成二十四年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。本県からは、春の叙勲が十四名、第十八回危険業務従事者叙勲が十四名、藍綬褒章が二名、合計三十名の皆様を受章の栄に浴びました。

勲記・勲章は、五月八日(火)、県庁において橋本知事から伝達されました。

国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が六月一日(ニッショーホール)、危険業務従事者叙勲が五月三十日(日本青年館)、春の褒章が六月六日(スクワール麹町)においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拜謁(豊明殿)も執り行われました。受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

## 春の叙勲

### 瑞宝小綬章

- 永岡 薫(七十) 元 茨城西南 消防正監 消防歴 四十年八月
- 古河市在住
- 藤城 二郎(七十) 元 鹿島南部 消防正監 消防歴 三十八年 鹿嶋市在住
- 齊藤 喜雄(七十) 元 筑西市消防団 団長 消防歴 四十五年〇月半 筑西市在住
- 沢木 利夫(七十四) 元 八千代町消防団 団長 消防歴 五十二年七月半 八千代町在住

### 瑞宝双光章

- 櫻井 誠(七十三) 元 美野里町消防団 副団長 消防歴 三十八年三月 小美玉市在住
- 長山登志治(六十九) 元 常陸大宮市消防団 副団長 消防歴 三十九年 常陸大宮市在住
- 秋原 敏正(六十五) 元 稲敷市新利根消防団 副団長 消防歴 三十七年 稲敷市在住
- 羽富 正三(六十五) 元 取手市消防団 副団長 消防歴 三十四年五月 取手市在住
- 三川 定之(七十二) 元 水戸市消防団 分団長 消防歴 四十九年三月半 水戸市在住

### 瑞宝単光章

- 嵐田 亨(七十一) 元 日立市消防団 副団長 消防歴 四十四年三月 日立市在住
- 江幡 衛(六十六) 元 茨城町消防団 副団長 消防歴 四十一年 茨城町在住
- 加藤木 要(七十一) 元 城里町桂消防団 団長 消防歴 三十五年三月半 城里町在住



春の叙勲伝達式 (ニッショーホール)

## 第十八回危険業務従事者叙勲

### 瑞宝双光章

- 井上 裕彦(六十六) 元 常陸太田市 消防監 消防歴 四十一年一月 常陸太田市在住
- 手佐美忠正(七十一) 元 大子町 消防監 消防歴 三十六年四月 大子町在住
- 海野 眞(六十八) 元 那珂瓜連 消防監 消防歴 三十九年五月半 那珂市在住
- 片岡 宏積(六十五) 元 土浦市 消防監 消防歴 四十年 土浦市在住
- 菊田 久(六十九) 元 久 消防監 消防歴 三十九年七月 久市在住



危険業務従事者叙勲伝達式 (日本青年館)

## 藍綬褒章

- 篠崎 民雄(六十五) 元 土浦市 消防正監 消防歴 三十八年 土浦市在住
- 鈴木 芳雄(六十七) 元 取手市 消防監 消防歴 三十三年五月 取手市在住
- 土子 貞勇(七十三) 元 鹿行広域 消防監 消防歴 四十一年十一月 銚田市在住
- 比氣道之助(六十五) 元 石岡市 消防正監 消防歴 四十一年十月 石岡市在住
- 藤田 光啓(六十五) 元 大子町 消防監 消防歴 四十一年七月 大子町在住
- 皆川 泰男(六十六) 元 高萩日立 消防監 消防歴 四十二年 高萩市在住
- 山口 武雄(六十五) 元 茨城西南 消防監 消防歴 四十年四月 板東市在住
- 横田 稔(七十一) 元 日立市 消防監 消防歴 三十九年七月 日立市在住
- 吉原 攻夫(七十) 元 日立市 消防監 消防歴 四十一年四月 日立市在住
- 木村 春男(六十五) 現 坂東市消防団 団長 消防歴 三十年一月 坂東市在住
- 長洲 良男(六十二) 現 茨城町消防団 団長 消防歴 三十三年一月 茨城町在住

## 県立消防学校 初任科入校式



入校式に臨む初任科生

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第九十三期入校式が、四月十日(木)午前十時から県立消防学校において、県内二十消防本部から総勢九十六名の学生を迎え奉り行われました。

式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(齋藤学校長)、知事告辞(大高県消防安全課長)、続いて県消防協会長の来賓祝辞(鈴木専務理事)がありました。

今後、消防学校において心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として県立消防学校に入学を祈念します。



右から坂東市消防団 木村団長ご夫妻、茨城町消防団 長洲団長ご夫妻

### 編集後記

平成二十四年度の事業がスタートして早二ヶ月が経過しました。

昨年度は、東日本大震災の影響により、消防救助技術大会や幼年少年婦人防火大会などが中止となり、寂しい感もありましたが、今年度は、例年以上の盛り上がりのおかげで、事業が進んでいくことがうれしく感じています。

発行にあたり、消防団幹部研修について、ご寄稿いただきました取手市消防団 吉田分団長、常陸市消防団 齊藤分団長にお礼申し上げます。

いつものことですが、「茨城消防」では消防に関する行事や珍事など、記事の提供をお待ちしております。(せ)

10mから50mモリタの梯子車  
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。

完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シバウラ小型消防ポンプ  
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2本立で総ての機能を具えております。

消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店  
**(有) 鈴 機**  
石岡市国府5-2-25  
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

**Panasonic**

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 ☎310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613

千波営業所 ☎310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540

土浦営業所 ☎300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

**トーハツ 小型ポンプ**

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車・消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市東原3-6-24  
TEL.029(224)3324(代)  
FAX.029(224)3360

